

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			車椅子の利用者も移動、活動がしやすいように広くスペースを取れるようにしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			その日の利用者の状況に合わせて職員配置ができるように対応しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関から車椅子の利用者もスムーズに入退室ができるようにしております。 構造上、水回りの狭さの課題は引き続いてあります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に情報共有を行い、現状の把握し会議やカンファレンスで次の支援に繋がるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート調査以外でも、日々保護者とのやりとりを大切にし、意見を伝えやすい環境を整え、取り入れられるようにしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内、HPにて公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後実施を検討しております。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修会を取り入れています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援に関わるスタッフで情報共有や課題について話し合いをし、計画書を立てるようにしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所独自のアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		保護者、利用者の希望にも沿いながら、週ごとに決めて活動を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事を取り入れながら、スタッフ間で話し合い、活動に取り入れるようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			日々の活動に加えて、季節行事を取り入れる等工夫しております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者、利用者とも相談しながら、一人ひとりに合わせた活動ができるよう、計画書を作成しております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の活動を含めて情報共有をし、適切な支援が行えるようにしております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に反省点等を話し合い、次の支援に繋がるようにしています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		情報共有を元に正しく記録を取り、次の支援に繋がるようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なモニタリングの他に状況に合わせた内容を計画書に盛り込んだり、支援を行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○		ガイドラインに則り、基本活動を組み合わせた活動、支援を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者だけでなく、日々支援するスタッフも参画できるようにしております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		下校時刻や送迎について、学校との連携が難しい場面もあります。保護者との連携を図りながら、学校とも密な連携を図れるように対応をしていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療的ケアが必要な利用者おりません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		現在、連携が取れていない為、今後機会が作れるようにしていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		保護者の意向や事業所からの要望があった場合に情報共有を行うようにしております。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		今後、機会を増やしていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		感染症が流行している為、現時点では機会はありませんが、状況次第で増やしていきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		現在、市に協議会がないため参加ができていませんが、設置された際は参加してまいります。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		電話やメールだけでなく、連絡帳や送迎時に情報共有ができるようにしております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		責任者を筆頭に対応方法や関係性の構築の仕方などの情報共有はしていますが、課題として残っています。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		問い合わせがあった際の説明や契約時に丁寧に説明しております。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		各家庭に合わせて対応しております。また相談しやすい雰囲気づくりを常勤職員から行い、丁寧にしています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		感染症が流行している為、実施していませんが、状況を見て検討しております。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		事業所の対応マニュアルを基に研修を行い、対応方法の向上を目指しております。また、責任者が主となり適切な対応を取るようになっております。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	HP等で発信ができるようになってまいります。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付きの書庫に保管し、外部への漏洩にならないよう徹底しております。また、研修を行い、意識をすようにしております。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者や保護者に合わせて丁寧な対応が取れるようにしております。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	感染症の流行によりできていませんが、実施の際は挨拶を含めて地域と関わる機会を設けてまいります。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを基に研修を行い、正しい対応方法や有事の際の連携について保護者を含めて通達しております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年二回、利用者、職員で状況に合わせた避難訓練を行っております。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修を年二回以上行うようにし、日々の支援の中でも確認し合い、意識向上に努めております。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		面談等を通じて、必要な場合には支援計画書に記載するようになっております。また職員にも正しい対応がとれるように周知しております。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		事前に指示書の提出をしていただき、職員へ周知し、対応ができるようになっております。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員で振り返りを行い、記録に残すようになっております。また、ケース会議等を行い、検討をするようにしております。

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。